

フリマARを使って
写真にスマホをかざそう！
生徒の皆さんの
制作風景をご覧くださいませ。
(動画を見るにはP18へ)



動画閲覧期間は1か月です。
10/25(木)▶11/21(水)

みんな
仲よし。



手作り
ピアノ
演奏。



巻頭特集

誰にとっても自由な場

心をはぐくむ 絵画教室



加茂川沿いに佇む(絵画教室)には創作を心から楽しむ生徒が多く訪れます。ここでは年齢や性別だけでなく、障がいのあるなしなど、どんな垣根もなく誰もが創作できる場所だそう。多くの人が魅力的だと語る同教室に集う人と絵を教える泉谷眞知子先生に話を伺いました。



泉谷眞知子先生

美大卒業後、幼児教育などを学び絵画教室を主宰。好きな画家はプラマック、佐伯祐三。加茂の絵画教室を含め県内5ヵ所に教室あり。

描きたい！作りたい！がカタチになる絵画教室
キャンバスにこんもりとつけた鮮やかな色彩豊かな絵の具。画用紙にはほとぼしる大胆な線と、そこに踊る折り紙。ハツとするほどいきいきとした魅力を感じられるのばかりです。これらの作品が生み出されているのは、障がいのある人もない人も子どもも大人も垣根なく誰でも参加できる(絵画教室)。加茂市にある(カフェギャラリーあらいんち)3階で毎週月曜日の午後より行われているその教室には、子どもを中心に約13名が在籍しています。教室が始まる時間になると、はずむ足取りで子どもたちが集まってきました。「こんにちわー」と大きな声で挨拶が聞こえたかと思うと、子どもたち自ら絵の具や筆を用意し、バケツに水を入れエプロンをつけたりと、絵を描く準備を始めます。
広々とした24畳ほどの空間には、その広さの半分以上を占める大きな机と、どこに座って描いてもいいように、子どもの人数以上に置かれた椅子。窓から差し込むやわらかな光と風は、絵の具のことは、思うように描けなかったり、嫌になることは必ずあります。けれども、その感情は次に進むための入り口でしかありません。そこで立ち止まってしまう生徒がいたとき、初めて私の出番となります。「思いのままに描く姿を見守り、必要な時を見計らい声がけをするという先生。そんな先生の姿勢は、教室に通う生徒や親たちにとって映るのか、話を聞いてみました。

芸術を通じた人間力を育む

「この教室は自分育てる場所。『自分らしい』と生きてきた人に自由を描いていいよ」と言ってもなかなか描けない。外から与えられた概念で表現するのはなく、まわりから刺激を受け、工夫しながらくり返し描いていく。すると、誰かの評価ではなく、自分の満足いく作品が描けるようになります。また心にたまった感情を素直に作品に発散させることは、自浄活動となり、情緒の安定と心の自立にもつながります。」
自ら伸びようとする意志を尊重している先生は、「続けました。子どもにとって一番基本的なことは、喜びやうれしさの感情に出会ったとき、驚きをもつて表現すること。絵を描く過程で

「この教室はずっと続けたい！だって自由に絵が描けるって楽しいから」と得意顔で話す子どもたち。創作する姿からは、びかびかと放たれるエネルギーが力いっぱい伝わってきます。その姿を微笑んで見つめ「あやうって三三三集中して描いてる姿で、すごく魅力的でカッコいいと思うのよ」と話すのは26歳の自閉症の娘を持つお母さん。「やりたいことも好き放題。絵を描くのが楽しみで仕方ない感じで、でも、生活との切り替えのスイッチもしっかり持っている。こは芸術を通じた人間力が育つ場所。私はそう信じてる」
また、健常者と知的障害の姉妹を育てるお母さんは「こんなに子どもの思いを尊重してくれる先生に出会えなければ、窮屈な子育てをしていたかもしれませぬ。この教室があることにより、固定観念にとらわれず子育てができるようになりまし」と話します。それは先

おいと子どもたちの話し声が相まって、自由でやさしい雰囲気を引き立てているようです。
思うままに筆を運ぶ子どもたちを微笑みながら見守っているのは、新潟市でも絵を教えている泉谷先生。訪れる人に手渡す同教室の案内には「目をとじると何が見えますか？」「何を聞きますか？」「何を聞きますか？」など不思議な問いかけが書かれています。この場所に来る人が皆、教室の存在の大きさについて口を揃える同教室では「いつか」というようなことを教えているのでしょうか。

自ら学び答えを見つける 自分で自分を育てる場所

「先生はその人の中にある自分の仕事は創作する姿を見守ることです」「絵の指導より生徒を見守ると語る泉谷先生は、「子どもの絵について」という題名でその思いを2枚の紙にまとめ、生徒や親に渡しています。そこには絵、生の姿勢が影響しているようで「やりたことしかやらない子どもをきちんと受け止めてくれ、悩んでいるときには寄り添ってくれる。先生は子どもの主体性をコントロールしたり奮ったりしないんです」
絵画教室のかたわら、自身も絵を描き続ける先生は「私もまだまだ旅の途中。自分と向き合うほどに感情の入り口と出会い、立ちすくむこともありませぬ。でもここまでこれたのは、子どもたちがいて教室があったから」と振り返ります。「私は絵と教室を通して自分を見つめられましたがそれは特別なことではないと思います。誰にでも夢中になれるもの。自然と続いていることであるはず。それが自分と向き合うことですから」
「目をとじると何が見えますか？」「何を聞きますか？」「何を聞きますか？」自分の内面にしっかりと向き合うことで、見えてくるものがあるかもしれません。

絵画教室のご案内

場所 加茂市新町2-1-17
(カフェギャラリーあらいんち)3階
日時 毎週月曜日 14:30~19:00 ※先生在室時間
対象 幼児~一般 誰でもOK
月謝 【幼児・小中学生】 【一般】
5,000円(毎週コース) 6,000円(毎週コース)
3,000円(月2回コース) 3,500円(月2回コース)
2,000円(月1回コース) 2,000円(月1回コース)
入会費 2,000円
教材 水彩画、油彩画、アクリル画、造形一般 他
問合せ i.z.m-ma-nagaveru@h.vodafone.ne.jp
メールでのお問合せの場合
下記を記入の上、お送りください。
●題名:まるごと見ました
●氏名(ふりがな) ●電話番号 ●問合せ内容
TEL 090-2882-8683(泉谷眞知子)

ワークショップも実施
見学・入学は随時受付



2年かかって完成した作品です。先生のおしゅべりも楽しみに通っています。

絵を描いたり、作業をしたり楽しいです！

生徒の皆さん

自由に描けるって楽しい！この教室が大好き！



泉谷先生がやさしく見守ります。



ハートのモチーフに
夢中！

